

福祉の **ひかり** 

光が丘地区社会福祉協議会

第104号
 発行 光が丘地区社会福祉協議会
 事務局 相模原市中央区並木 4-7-9
 光が丘公民館内
 電話 042-707-1332
 メール hikarigaokatiku@sagamiha
 rashishakyo.or.jp
 編集 広報委員会

「お年寄りの集い」 3年ぶりに開催

コロナ禍の中、過密を防ぐため午前/午後の2部に分かれて



光が丘地域包括支援センターの指導で脳トレ体操



ミスターTKマジックショウ



ハワイアン&懐メロ演奏
ハワイアンバンド「あおたけさんご」



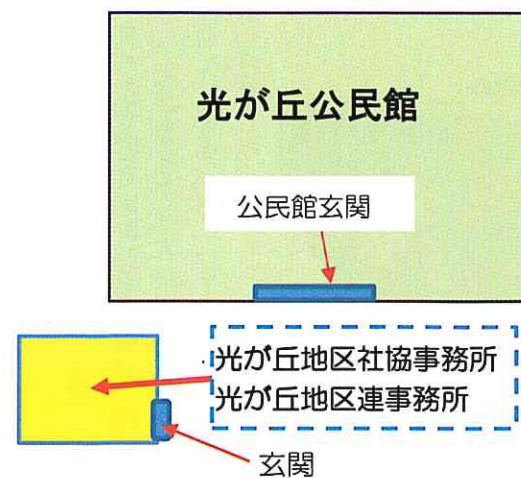
ハワイアンバンドのフラガールに誘われて、イスに座ったまま手踊り

「75才以上の一人暮らしの方を対象としたお年寄りの集い」を令和元年から3年ぶりに11月12日(土)に青葉小体育館で開催しました。

コロナ感染症の流行により、大勢の集いが出来なくなり集いを中止し、お年寄りの皆さんには羊羹などを配布してきました。まだコロナ禍は収まっていないので過密を避けるため、午前と午後に分け席の間隔を開け、お弁当を持ち帰ってもらうなどの対策を行って感染予防に注意を払いながらの開催となりました。

・午前(10時~11時30分)は
 並木・青葉・緑が丘地区、
 97人

・午後(2時~3時30分)
 陽光台・光が丘地区
 81人



光が丘地区社会福祉協議会(光が丘地区社協)の事務所が10月末に公民館前の建物に引っ越ししました。(同時に光が丘地区連も同場所へ引っ越し)

光が丘地区社会福祉協議会
事務所 引っ越し

合計178人の方が、生の演奏・マジックショウを堪能されたようです。包括支援センターの指導で脳トレ体操を行いました。毎日少しでも体を動かし健康な生活に活かしてください。

このお年寄りの集いは、光が丘地区社協・民生委員児童委員協議会・老人会の共催となっていますが、お年寄りへの案内・計画運営の多くを民生委員・児童委員の方に担っていただいています。

光が丘地区民生委員・児童委員紹介		(令和4年12月1日 現在)
	担当区域	氏名
1	並木1丁目	選考中
2	並木2丁目3の1号・4号の一部(ひかり自治会)・19号~31号、4の1号・32号~39号、5~15	白井 博
3	並木2丁目1、2(県営並木団地を除く)、3の3号・4号の一部(並木2丁目自治会)・5号~17号、4の2号~31号	安藏 貞子
4	県営並木団地	加藤 よし子
5	市営並木団地、グリーンヒル相模原	欠員
6	並木3丁目(市営並木団地、グリーンヒル相模原を除く)1~10、14、15	中禮 和海
7	並木3丁目11~13、16~19	和田 州治
8	並木4丁目1~7	小林 教利
9	並木4丁目8~最後	石井 和子
10	青葉1丁目1~7、15~17	柳沼 節
11	青葉1丁目8~14	選考中
12	青葉2丁目	石田 君江
13	青葉3丁目	中村 太
14	光が丘1丁目	駒村 みよし
15	光が丘2丁目1~18	選考中
16	光が丘2丁目19~最後/光が丘3丁目31	佐々木 孝之
17	光が丘3丁目4、6の1号~12号	鈴木 貴子
18	光が丘3丁目6の13号~最後	欠員
19	光が丘3丁目1~3、7	夏井 敦
20	光が丘3丁目8~11	欠員
21	光が丘3丁目12~30	選考中
22	緑が丘1丁目1~14	竹村 房子
23	緑が丘1丁目15~25	岸 豊治
24	緑が丘1丁目26~最後	中村 圭子
25	緑が丘2丁目27~最後	杉本 博志
26	緑が丘2丁目1~26	福澤 祥二
27	陽光台1丁目	服部 昭子
28	陽光台2丁目1、2、8~13、19~22	入江 紫須子
29	陽光台2丁目3~7、14~18、23~最後	児玉 千恵子
30	陽光台3丁目1、2、9~16、20、21	選考中
31	陽光台3丁目3~8、17~19	新井 淳
32	陽光台4丁目1~10、17、18の1号~6号・9号~11号、19の9号・10号の一部・11号~14号	高梨 陽子
33	陽光台4丁目11~16、31の9号~11号、32~34、35の1号・12号~14号	落合 とし子
34	陽光台4丁目18の7号、19の10号、20~29、30の1号~7号、35の2号~11号、36/陽光台5丁目2の10号・11号、3の1号・38号・39号	本村 純二
35	陽光台5丁目1、2の1号~9号・12号~最後、3の2号~37号、8~13	小川 紀江
36	陽光台5丁目4~7、14~18、19の1号~28号・30号~32号・34号~37号	堀江 公之輔
37	陽光台5丁目19の29号・33号/陽光台6丁目1~8、9の1号~13号・20号・21号、13	緒方 美津江
38	陽光台6丁目9の14号~19号、10~12/陽光台7丁目	桐原 秀子
39	主任児童委員	守屋 典子
40	主任児童委員	富木 美智世

光が丘地区民生委員・児童委員について

- 民生委員・児童委員は、住民の立場に立って、福祉についての相談に応じたり、必要な支援を行う地域福祉活動の担い手です。
- 「民生委員」は、子どもに関わる援助などを行う「児童委員」も兼ねており、このうち、専ら児童に関わる相談や支援を担当する「主任児童委員」がいます。

○光が丘地区民生委員・児童委員の活動内容

- ◆ 定例会と各種研修（一日研修、宿泊研修、市や県の研修等）
- ◆ サロン活動（いきいきサロン：高齢者対象、子育てサロン：乳幼児対象）
- ◆ 安否確認等の訪問活動
- ◆ 小・中学校との関係（入学式、卒業式、運動会、体育祭、情報交換）
- ◆ 子ども見守り活動（登下校等）
- ◆ 高齢者訪問と敬老事業
- ◆ 自治会や地区社会福祉協議会等の活動への参加

並木地区							
	2. 白井 博	3. 安藏 貞子	4. 加藤 よし子	6. 中禮 和海	7. 和田 州治	8. 小林 教利	9. 石井 和子
青葉地区				光が丘地区			
	10. 柳沼 節	12. 石田 君江	13. 中村 太		14. 駒村 みよし	16. 佐々木 孝之	17. 鈴木 貴子
光が丘地区		緑が丘地区					
	19. 夏井 敦		22. 竹村 房子	23. 岸 豊治	24. 中村 圭子	25. 杉本 博志	26. 福澤 祥二
陽光台地区							
	27. 服部 昭子	28. 入江 紫須子	29. 児玉 千恵子	31. 新井 淳	32. 高梨 陽子	33. 落合 とし子	34. 本村 純二
陽光台地区					主任児童委員		
	35. 小川 紀江	36. 堀江 公之輔	37. 緒方 美津江	38. 桐原 秀子		39. 守屋 典子	40. 富木 美智世

ふれあい交流会 (街並み点検) 経過報告

令和3年度のふれあい交流会はコロナ感染症の流行のため延期になり、年度末の昨年3月に実施しました。

従来は、光が丘地区を5コースに分け各コースを約20名で点検していました。今回はコロナの感染を防ぐため、倍の10コースで各コース3名で点検をしました。



3月の点検の様子

この点検で合計108件の改善要望が点検されました。

この結果を「ふれあい交流会」のまとめ誌として作成し、5月に行政(市役所を通じて)と自治会に改善要望としてお願いしました。

9月に相模原市から行政関係の対応についての回答書をいただいたこともあり、11月・12月に各コースの責任者が中心となって指摘した場所の現状を確認しました。

次の表は、その経過報告です。約35%が改善、次年度以降の対応も含めると60%の改善となります。

全改善数	自治会		行政関係		改善要望
	未改善	改善	対応不可・その他	改善	
37	14	10	27	29	108件

※ 今年・次年度以降に対応の中に既に工事が完了し対応済みのものは改善の件数に入れません。
※ 多くのカーブミラー設置の要望に対し、設置場所がないなどの理由で対応不可となっており、提案の方法、別の対応がないか等の検討会、研究会が必要と思います。

ダイヤモンド婚のご夫妻にお祝い

11月16・17日、光が丘地区社協は、光が丘地区でダイヤモンド婚(結婚60年)を迎えられた32組のご夫婦のお祝いをしました。

ご自宅を地区社協会長と民生委員児童委員協議会役員、担当地区の民生委員が訪問し、記念品(写真立て)と花束を贈呈、続いてお二人の記念撮影を行いました。



読売巨人軍で選手、コーチで活躍された木戸さんご夫妻もダイヤモンド婚を迎えられました

赤い羽根街頭募金

10月2日(日)ヤオコー、グルメシティ、コープ、三和の4店舗の協力を得て、70名が交替で街頭に立ち募金活動を行いました。
4店舗合計 75,170円
同時に開催された行事での募金 相模原市パークゴルフ協会 12,222円
光が丘公民館文化展 1,651円
ご協力ありがとうございました



コープでの街頭募金、コロナ予防のため声かけはCDから

理事視察バス研修

9月14日(水)
光が丘地区社協の理事研修で、理事22名が東名高速大井松田インター近くにある「BIOTOPIA」に行きました。



「BIOTOPIA」前で参加者全員で写真撮影

「BIOTOPIA」は、自然の恵みが集まる「食」、身体を整える「運動」、五感を解放する「癒やし」これらをコンセプトに子どもから大人まで楽しく「未病」改善ができる施設として2018年に開設されました。
運動能力や健康を測定出来る設備が多く設置されていたので、皆でそれに挑戦し汗を流し、自分の体力、体調と健康度を測定しました。
今回の研修目的は、この施設の目指す健康社会の実現を身をもって体験し、日々の活動に活かすことでした。